

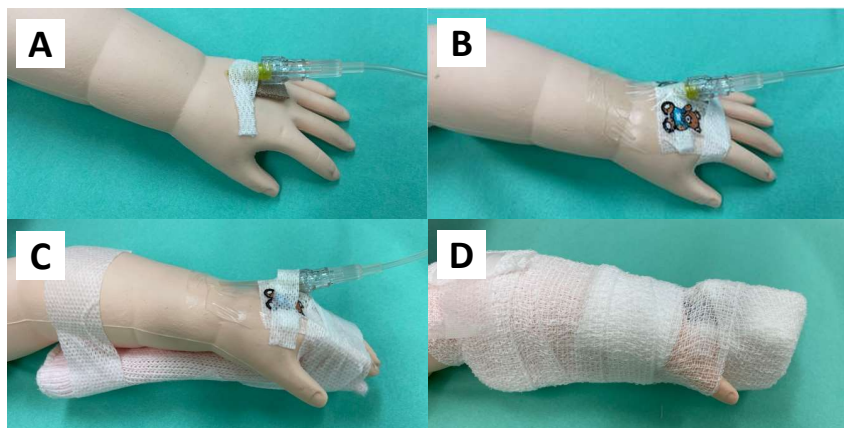
ニーズの概要

小児における末梢静脈留置カテーテル・末梢留置型中心静脈カテーテルの固定法・固定器具

現状の課題

医療現場では日常的に使用される，末梢静脈留置カテーテル・末梢留置型中心静脈カテーテルは基本的処置の1つですが，小児医療現場では成人と異なり，固定方法が難しく各施設が工夫を凝らしています。

小児の点滴は，留置時だけでなく固定作業にも患児の負担が発生する点や，人員を要する点，留置中はシーネで関節が固定されてしまう点など，成人とは異なる点が多々あります。さらに，事故抜去を含む様々な要因で再確保が必要となる場合がありますが，患児の負担が大きく医療コストもかさむことという課題があります。



小児で一般的に行われる固定方法の例

A, B:

点滴部分をテープ・フィルム剤で固定・保護

C: シーネで関節が曲がらないよう広範囲を固定
指・関節は動かせなくなることが多い

D: 包帯で全体を覆う

安全性を高めつつ，患児の気をそらす目的だが，自由に動かせない・物をつかめないなど，患児にとってはストレスとなる

ニーズ

乳児・幼児の突発的な動きや皮膚の脆弱性をクリアでき，従来のテープ固定の代替とりなる，より確実に簡便な固定方法が実現すると世界中の小児医療に貢献できると考えています。